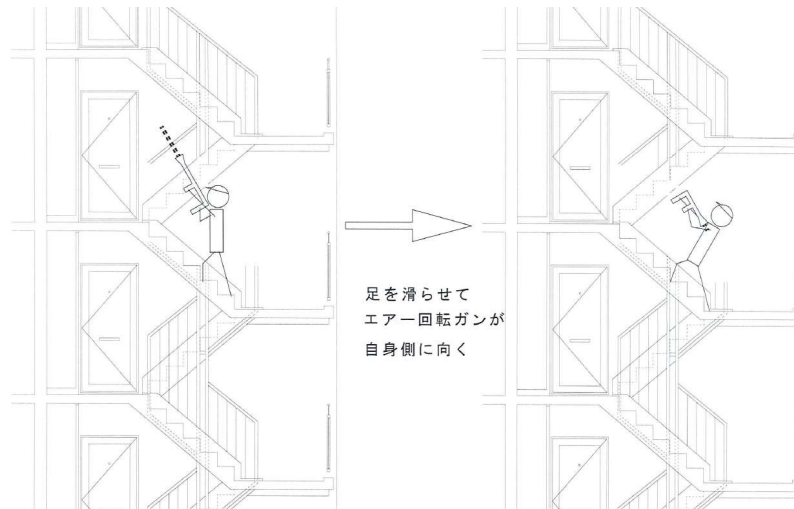


公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和 6年 10月 30日(水曜日) 16時 30分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	工具等取扱	性別	男性	年齢	40	業種区分	建築
被災程度	左肩4cm程度の裂傷			事故レベル	(技術監理課で記入)	休業見込日数	4日以上
工事概要	建物解体工事						
事故概要	<ul style="list-style-type: none"> 被災者は解体住棟3階(階段室)の天井塗膜に対して石綿建材除去工事を行っており、エア一回転ガン(高圧水を噴射し塗膜を除去するもの)を使用していた(天井塗膜の除去であるため、上向きで作業をしていた)。 午後4時30分頃、階段部でエア一回転ガンを起動させた際の反動により体勢が崩れ、高圧水が自身の方に噴射され、左肩を負傷した。 						
事故原因	<p>【不安定な場所における、機器(起動時に反動を伴うもの)の起動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 階段室の階段部分という不安定な場所で機器を起動した。 噴出した高圧水により足元が濡れており、滑りやすい場所で機器を起動した。 <p>[状況が生じた背景]</p> <ul style="list-style-type: none"> 被災者は作業時間が終了間近であり、早く作業を終わらせようと焦っていた。 被災者は単独で作業を行っていた。 (被災者の作業体勢・環境に対して、職長等の目が行き届かない状況であった) <p>【体勢が崩れた際にエア一回転ガンのトリガーから指を放さなかった】</p> <ul style="list-style-type: none"> エア一回転ガンは、トリガーから指を放した時点で噴出される高圧水が瞬時に減圧される仕様であるが、体勢が崩れたことによるガン先の暴れは咄嗟の出来事であり、トリガーを押した状態のままガン先が被災者方向に向いてしまった。 ガンの暴れを抑えようとする際、返って強く握ってしまった可能性がある 						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 周知会、再発防止協議の実施 防護服の使用(ウォータージェット専用保護具 アクアガード) 						

事故状況図



改善状況図



周知会・再発防止協議の実施状況

防護服の使用
(ウォータージェット専用保護具 アクアガード)